

-아/어 봤던들

たとえ～してみたところで

過去の反実仮想＋反語を組み合わせた古文調です。「やってみても無駄だった」という諦めを表します。

■ つけ方

語幹の母音	形	例
ㅏ・ㅑ	-아 봤던들	가다 → 가 봤던들
それ以外	-어 봤던들	먹다 → 먹어 봤던들
하다	해 봤던들	해 봤던들
後ろ	反語・無駄	달라졌겠는가?
土台	-았/었던들	過去の反実仮想
近い形	-았/었더라도	より一般的

■ 使い方と注意

やっても無駄だったと述べます。그때 말해 봤던들 무엇이 달라졌겠는가（あのとき言ってみたところで何が変わっただろうか）。

三つの要素が重なっています。-아/어 보다（試み）＋-았/었던들（過去の反実仮想）＋反語。「試したとしても結果は同じだった」という諦めの構文です。

後ろには反語が来ます。무엇이 달라졌겠는가、소용없었을 것이다 など。5級の-(으)ㄴ들과同じ流れです。

古文調で日常会話には出てきません。文学作品や回想の文章で見かける形です。

■ 例文

- 1

그때 말해 봤던들 달라질 것은 없었다.

あのとき言ってみたところで、変わることはありませんでした。
- 2

아무리 찾아 봤던들 나올 리가 없었다.

いくら探してみたところで、出てくるはずがありませんでした。
- 3

일찍 알았던들 무슨 수가 있었겠는가.

早く知っていたところで、何か手立てがあったでしょうか。
- 4

말려 봤던들 그는 듣지 않았을 것이다.

止めてみたところで、彼は聞かなかったでしょう。
- 5

직접 만들어 봤던들 결과는 마찬가지였으리라.

自分で作ってみたところで、結果は同じだったでしょう。
- 6

서둘렀던들 이미 늦은 뒤였다.

急いだところで、すでに手遅れでした。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ들
反語を伴う仮定です。봤던들은過去の試みに限ります。
후회한들（現在の仮定） / 해 봤던들（過去の試み）

-았/었더라도
過去の仮定の逆接です。봤던들은反語と諦めを含みます。
했더라도（仮定） / 해 봤던들（無駄）

-았/었더라면
過去の反実仮想で後悔を表します。봤던들은諦めです。
했더라면 좋았을 텐데（後悔） / 해 봤던들 소용없다（諦め）

■ まちがえやすい点

- ✕ 해 봤던들 좋았어요.

○ 해 봤던들 소용없었어요.

後ろには反語や無駄を置きます。
- ✕ 해봤던들

○ 해 봤던들

補助動詞なので分かち書きます。
- ✕ 친구야, 해 봤던들 안 됐어.

○ 친구야, 해 봐어도 안 됐어.

日常会話では 아/어도 が自然です。